

## 東京都および江東区からまちづくりの方向性が示されました

## 新木場エリアの位置づけ

## 江東区都市計画マスタープラン2022（江東区）

「未来の臨海部のまちづくり」を重点戦略の1つに掲げ、新木場を「ポテンシャルの高さを活かした産業都市」と位置付け。

- ・「軸」湾岸軸では、各地域が有している資源やポテンシャルを最大限に生かし地域の国際競争力を高めるとともに、水辺のにぎわい創出の視点も含めて、多様な性格をもった空間づくりを重点的に進めます。
- ・「ゾーン」新木場などでは、広域的な道路、鉄道の交通ネットワークなどに恵まれた立地条件、都心部への高いアクセス性の向上を踏まえ、今後地域におけるまちづくりの発意や動きに応じて、基盤整備や新たな都市機能の誘導について関係者と連携して推進します。
- ・「拠点」広域的な交通結節機能のポテンシャルの高さを活かしつつ、環境に配慮した産業拠点を目指し、土地利用転換を契機とした基盤整備や内水面の再生、コンバージョンに合わせた防災機能の誘導など、新たな価値の創出を図ります。さらに、地域特有の産業である木材の利用を推進することで循環型社会の拠点として、新たな伝統を育みます。
- ・グリーンインフラの考え方から既存の水辺空間を活用し、親水性の高い連続性のあるオープンスペースの形成や舟運の活性化、貯木場として利用されていた水面の新たな活用など、水辺を活かしたまちづくりを目指します。

## 東京ベイeSGまちづくり戦略2022（東京都）

2040年代のベイエリアを実現するための実行戦略を提示する中で、新木場については以下のとおり記載。

- ・木の伝統文化と先端技術が融合し、新たな価値が創出
- ・土地利用の転換などにより、新たな価値の創出に資する新産業の施設の立地を促進し、多様なイノベーションを創出
- ・都市的な土地利用への転換や倉庫等のコンバージョンなどにより、木の伝統文化から発展する資源循環の先端技術などが活用されるとともに、新たな価値の創出に資する新産業の施設の立地が誘導され、働く人、訪れる人の活動の質を高める複合的な都市機能が導入
- ・駅周辺では、良好な交通利便性を生かし、生活利便施設が拡充されるとともに、舟運が活性化され、都市開発に合わせた活力とにぎわいの拠点が形成
- ・静穏な内水面、長い水際線を生かし、減災機能を発揮するグリーンインフラの水辺への再生や水害リスクを考慮した土地利用やまちづくりの誘導

## 新木場・辰巳三丁目地区地権者協議会によるパブリックコメント（意見募集）への対応

「東京ベイeSGまちづくり戦略2022」「江東区都市計画マスタープラン2022」策定の過程で、東京都と江東区はそれぞれパブリックコメントを募集実施しました。本協議会は、**数年にわたり議論をして2019年にまとめた新木場におけるまちづくりのコンセプト及びビジュアルイメージ（別添参照）と共に、コメントを提出しました。**その結果、最終版にはコンセプトを念頭においた表現が加えられており、今後新木場・辰巳エリアにおいてまちづくりが進んでいく契機として捉えております。

## 本協議会がまとめた新木場まちづくりコンセプト

1. 広い空と海に草の根的に創造性が集う自由なまち
2. 都市空間の時間活用マネジメントによる共有経済活動のまち
3. 木の伝統文化から発展する資源循環の先端技術のまち

## 江東区とともにエリアまちづくり方針の策定に向けて検討を行なってまいります

本協議会は、今後「江東区都市計画マスタープラン」に基づいて、江東区とともにより具体的な新木場エリアにおけるエリアまちづくり方針を策定すべく検討してまいります。地元関係者の皆様からも広くご意見を頂きながら、本協議会にて取りまとめを行なってまいりますので、この機会に是非まちづくりに関する忌憚のないご意見・要望を下記連絡窓口までお寄せください。

連絡窓口：一般社団法人 新木場・辰巳三丁目地区地権者協議会

〒136-0082 東京都江東区新木場一丁目18番6号 電話(03)3522-1240（代） FAX(03)3521-1458

私たちは、新木場一～三丁目・辰巳三丁目地区において、行政等まちづくりに係る関係者と連携を図り、当該地区の魅力や付加価値を高め持続的な発展に寄与することを目的として2014年に設立された一般社団法人です。



自由で開放的な感覚を満喫できる水辺景観  
(江東区清澄白河)



既存のハンドメイド工房  
(新木場 田口音響研究所)



小規模な単位から新産業に挑戦できる環境  
(植物工場)



既存建物を改修したクリエイター向けの  
コ・ワーキングスペース  
(シリコンバレーのカフェ)



国際的な宿泊や交流施設  
(ホテルメッツ新木場)



気取らないがハイセンスなブティックやカフェ  
(新木場 soko station 146)



倉庫改修や水辺空間が持つアーティスト層への魅力  
(T.Y.HARBOR)



国際的なテクノロジーベンチャーの研究開発の拠点  
(Beyond BioLAB TOKYO)



実験的なものづくり活動ができる広い空間  
(大学のファブリケーション施設)



ブランド力のある食のフェスティバル  
(メルボルン)



都市の中のリゾート地としての経済活動  
(新木場公園)



水辺の景観が映える市民スポーツ・イベント  
(江東区シーサイドマラソン)



水面を活かしたアトラクション  
(ウォーターショー)



交通規制した道路をイベントなどにも開放  
(富岡八幡宮 例大祭)



水辺の文化的活動  
(新木場「海床」プロジェクト)



アート系のイベントにも道路空間を開放  
(フラワーカーペット)



水上のアートギャラリー  
(パリ セーヌ川)



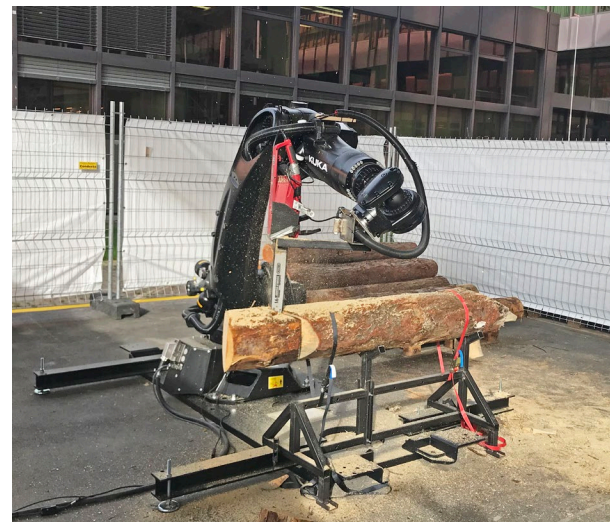
新木場の伝統文化を水上イベントに継承  
(東京木場角乗保存会)



自動運転バス走行実証  
(大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティプロジェクト)



斬新な木質感の建物  
(新木場 木材会館)



先端技術と融合した新たな木の産業開発  
(ロボットチェーンソー)



木材文化による資源循環の情報発信  
(CLT晴海プロジェクト)



都市木造の特徴を活かした商業空間  
(カジュアルイタリアンレストラン)



(新木場 木材・合板博物館)



東京の物流を支える産業が継続的に発展  
(オートメーション物流ラゴ)



世界中の子供たちへ向けた木育文化の拠点を形成  
(新木場 木工教室)



廃材をリサイクルした資源再生産業の発展  
(新木場 東京ボード工業リサイクルパーティクルボード)



木造の大規模集客施設  
(有明体操競技場)